

防衛大臣 森本 敏 様

[要請書]

南スーダンへの自衛隊第2次派兵を直ちに中止し、
派遣したすべての自衛隊員を即時に撤収させよ！

私たちは、貴職らが行っている国連南スーダンミッション（UNMISS）・南スーダン平和維持部隊（PKO）への自衛隊派遣の中止を求めて、今年1月29日要請書を提出した。

そこで述べた中止要請の理由は、

- 1) 派兵の目的としている、道路や橋の建設といったインフラ整備等の支援にあたるには、軍事組織である自衛隊は、そもそもふさわしくないこと。
- 2) それでもあえて自衛隊を派兵するというのは、南スーダンの石油をはじめとした資源確保が目的であること。
- 3) 南スーダンのスーダンからの独立を主導したのはアメリカ合州国であり、同盟国のそうしたアフリカ戦略に追随・加担するための派兵であること。
- 4) 加えて、こうした機会を自衛隊を「海外で戦争の出来る軍隊」へと作り上げるための利用していること。
- 5) 上記1)2)～4)といった真の目的を糊塗し、あたかも「国際貢献」であるかのように宣伝していること。
- 6) さらに、そうした国家利益の追求によって、自衛官の生命を危険にさらすことになること。

等である。

明日22日にも2次隊の第2派（約110名）が派兵されようとしている今、改めてこうした理由を強調し、中止を要請する。

特に、南スーダンとスーダンと間では、油田収益の配分を巡り、相互に国境を越え空爆を行うなど激しい戦闘が4月以降行われている。「これらの戦闘地域は自衛隊の派遣地であるジュバとは500キロ以上離れていて影響はない」というのが貴職らの見地であるが、戦闘地域との距離が問題なのではなく、派遣している国が交戦状態にあることこそが問題なのである。派遣の根拠であるPKO法はそれを許してはいない。

今日までの自衛隊の歴史そのものがまったく既成事実の積み重ねであった。憲法も法も無視した組織と活動の拡張をいつまで続けるつもりなのか。

自衛隊の南スーダンへの派兵の中止と即時撤収を要請する。

2012年6月21日

反安保実行委員会

東京都千代田区神田淡路町1-21-7 静和ビル2-A 淡路町事務所気付
TEL/FAX 03-3254-5460